

令和3年度 むつみ愛児園自己評価表

評価実施日:令和 4年 3月 26日

評価については、A:達成できた B:ほぼ達成できた C:一部改善を要する D:改善するの4段階で評価する

自己評価の観点		評価
(1) 園の組織と運営に関すること		
1	職員の共通理解のもと、自園の保育課題を明確にし、児童・保護者・地域の実態に応じた適切な保育目標となっているか。	A
2	定期的な職員会議を通して職員の共通理解のもと、機能的に組織・運営がなされているか。	A
3	事故等緊急事態に対する安全対策及び、対応マニュアルの整備がなされているか	A
4	保育目標や方法等を共通理解し、組織的な園内研究の推進に努めているか	B
(2) 保育内容とその展開に関すること		
1	各年齢ごとの目標を明確にし、具体化した保育課程の編成・実施がなされているか。	A
2	保育課程を見通した道徳性の芽生えを培う保育や幼児期にふさわしい知的発達等を促す教育が推進されているか。	B
3	幼児期の実態や育ちをとらえ、ねらいや内容を設定し、計画的に実践しているか。	A
4	一人一人の幼児の心に寄り添い、よさを認め伸ばすきめ細やかな指導に努めているか。	A
5	幼児にとって主体的な生活態度や創造的な思考を促すような、魅力ある環境構成がなされているか。	B
(3) 健康管理・食事に関すること		
1	登園時や保育中の子どもの健康管理は子ども一人一人の健康状態に応じて実施しているか。	A
2	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させているか。	A
3	感染症の対応について、発生の状況を必要に応じて、保護者、全職員に連絡しているか。	A
4	アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか。	A
5	食育を通して、子どもが食事を楽しむことが出来るように工夫をしていますか。	A
(4) 保育環境に関すること		
1	保育室の整理整頓に努め、いつも心地よい環境で保育ができるようにしているか。	A
2	常に遊具や教具の安全確認を行い、定期的に洗浄・消毒をしているか。	A
3	屋外での活動の場があり、園児が活動しやすい環境を整えているか。	A
4	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮しているか。	B

(5) 子育て支援に関すること		
1	一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。	A
2	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されているか。	A
(6) 家庭や地域との連携に関すること		
1	小学校と定期的な交流したり、保育内容や児童・幼児等の理解を行ったりしているか。	B
2	保護者や外部評価等の意見を取り入れ、保育活動に生かしているか。	A
3	中学生の職場体験や実習生の受け入れ態勢について、その意義や方針を全職員が理解しているか	D
(7) 安全確保への取り組みに関すること		
1	あらゆる場面を想定しての危機管理体制の共通理解が図られているか。	B
2	外部からの侵入に対する対応策がとられているか。	B
3	幼児に見知らぬ人や挙動不審な人に出会った際の対応について指導されているか。	A

今年度の反省点及び改善点	
<ul style="list-style-type: none"> 今年度も新型コロナウイルス感染症等の予防のため保育室や玩具などの消毒に努め、密に避けるため分散保育を行った。また行事の見直し、安心して楽しめる内容に変更した 新型コロナウイルスの感染予防をしつつ行事をどう進めていくかが問題になっていた。病気の流行がなくても園児や保護者が安全に安心して行事を楽しむにはどうしたらいいのか考えていきたい。 中学校の職業体験やインタビューは新型コロナウイルス感染症予防のため、実施していない。 長時間にわたる保育については、子どもが安心して取り組める遊びや活動を見直していく。 不審者対応訓練では、警察官による訓練は実施することができなかった。 園外での研修を受ける機会が少なかったため、感染症対策をしつつ、全体での研修会の機会を持ち、園外研修も取り入れていきたい。 地域の小学校との交流が感染症のため行えなかったが、幼保小の取り組みで絵本の共有したり、学校の様子を撮影したDVDが届き年長児で映像をみて、小学校の様子を知ることが出来てよかった。 	

来年度の課題	
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染予防をしつつ行事をどう進めていくか、病気の流行がなくても園児やその関係者が安全に安心して行事を楽しむにはどうしたらいいのか考えていきたい 来年度も引き続き保育活動や行事等、工夫して行い、消毒やマスクの着用・手洗い・うがい・部屋の換気などに努める。 不審者対応訓練については、状況に応じた内容で実施し、日々の中で【おおだこポリス】の約束を意識できるようにしていく。 Zoomを使用しているオンライン研修など園外研修等の参加体制を充実させる。 分散保育が増え、職員間での情報共有をスムーズに行えるようにボードではなく、ノートに書きこみ記録を残していく。 長時間にわたる保育については、子どもに合わせた遊びができるよう工夫していきたい。 保育があって行事があるということを保育者が認識し日々の保育を充実させることで一人一人の成長に合わせた保育を心がけたい。 今年度の対策をふまえて例年通りに開催するのか、行事の在り方を変えていくのか検討が必要である。 	